



戸田市議会議員
さいとう直子

さいとう直子事務所
〒335-0023 戸田市本町 5-2-20-1104
TEL&FAX：048-441-3625
E-mail：naoko@naoko-sai.to
HP：http://naoko-sai.to

発見
84

戸田市は、74.5%が自主財源で健全ですが…。

平成 22 年度の決算審査が9月議会で行われました。一般会計の歳入（収入）総額は、昨年より約 15 億円少ない 446 億円（一人当たり 36 万円）で、主に減少したのは、**市税と市債、諸収入**（東日本大震災により3月16日から予定されていた競艇の SG レース総理大臣杯も中止され、昨年より 6.5 億円の配分金減）などでした。

今回印象に残ったのは、市税が昨年度より 4 億円以上減った事です。市税 約 259 億円の内訳ですが、

固定資産税は 128 億円で、1 億 7 千万円程増
市たばこ税も 8 億 6 千万で、年々減少傾向から、価格値上げによる駆け込み購入が要因だと思いますが、4350 万円の増
軽自動車税も 百万円増の 6785 万円
都市計画税も 1 千万円増で 17 億 4 千万円でした。が、
市民税は、104 億円で、昨年より **7 億円**近いマイナスでした。

（個人が **5 億円**減の 84 億円 法人が **2 億円**減の 20 億円）
滞納分は 2 億円以上徴収し、昨年 1 億円以上あった不納欠損額も 9 千万円以下にし、決算時において 11 億円（3 億円 / 22 年度分含）が未収入となりました。

景気低迷が続く中、震災による影響もあり、様々な要因が 22 年度の収入減を引き起していると考えられます。が、戸田市は、マンション建設も行われており、人口増がまだ見込まれているものの、子供の数は、微増となってきました。県下一若い市民平均年齢（39 歳）ではありませんが、加速をつけて高くなってきていることや、企業の転出などから、今後、自主財源を今以上に確保していくことは厳しくなると思われます。

そうなると、歳出（支出）の削減が必要となります。何が優先で、価格に対し質や結果がどうであったかを分析し、必要なサービス（事業）を継続させていくことが重要です。そのためにも、住民一人ひとりがコスト意識を持ち、必要なサービスを選択していく事が求められます。発見 85 で、平成 22 年度の主なお金の使われ方についてお伝えします。

発見
85

義務的経費（人件費・扶助費・公債費）に 43.5%！

平成 22 年度の歳出（支出）は、434 億円（一人当たり 35 万円）で、毎年必ず支払わなければならない、人件費や扶助費、公債費（ローン）にあたる「義務的経費」は 189 億円で、昨年に比べ 6.4% 増加しました。割合が増えた分、他の経費に使えるお金が少なくなるので、予算を編成する自由度が失われることとなります。全国平均より余裕はありますが、人件費（68.1 億円）は、3 億円減ったものの、扶助費（101.4 億円）が、3 億円近く増えています。公債費（19.4 億円）は約 1500 万円増でした。

目的別のお金の使われ方で見るとトップは、扶助費で 5 割を占める **民生費** 168 億円（13.5 万円 / 1 人）で、全体の 38.7% を占めています。主なものは、

社会福祉費 65.3 億円（国保繰出金 10.9 億、障害者福祉 15 億、高齢者福祉 14.7 億、保健センター工事 13 億 etc.）
児童福祉費 66.5 億円（子供・児童手当 27 億、こども医療 4 億、母子福祉 3.8 億、保育園 17 億、学童保育室 2.5 億 etc.）
生活保護費 36.2 億円（生活保護扶助費 34.5 億 etc.） です。

次に多く使われたのは、**土木費**の 69.8 億円（5.6 万円 / 1 人） 16.1%。

土木管理費 4.7 億円（交通安全対策費 1.9 億、道路照明灯電気料 4788 万 etc.）
道路橋りょう費 4.3 億円（道路維持費 2.8 億、歩道整備事業 5149 万、橋梁整備事業 5149 万 etc.）
河川費 2.8 億円（上戸田川改修事業 2526 万、さくら川整備事業 1.39 億 etc.）
都市計画費 56.1 億円（土地区画整理費 22.5 億、公共下水道費 13.6 億、公園費 9.1 億、都市開発基金費 5.9 億 etc.）

3 番目が、**教育費**で 63.9 億円（5.1 万円 / 1 人） 14.7% でした。

教育総務費 9 億円（就学援助事業 1.1 億、ALT 事業 7421 万、私立幼稚園事業 2.3 億 etc.）
小学校費 16.6 億円（学校管理費 5.6 億、耐震補強事業 3.6 億、学校（単独）給食施設整備事業 4.2 億 etc.）
中学校費 11.3 億円（学校管理費 2.5 億、施設整備事業（新増中増築 etc.）7 億、耐震補強事業 1.7 億）
社会教育費 6.5 億円（公民館費 5925 万、図書館費 3.7 億、郷土博物館費 6511 万 etc.）
体育費 4.7 億円（スポーツ振興事業 4949 万、スポーツセンター管理運営費 3.5 億 etc.）
学校給食費 15 億円（学校給食センター費（新築工事 4.4 億含）10.8 億、単独校給食費 4.2 億）

はみだし情報

学校給食費の 5.2 億円分は賄材料代で、その内の 4.7 億円分は、小学校（月 3700 円）と中学校（月 4300 円）の給食費や試食代で支払われていて、22 年度の未納額は 268 万円でした。**未納者ゼロ**の学校は戸田南、戸田第二、美女木小学校と戸田東中学校でした。